

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	今枝 昌浩 IMAEDA Masahiro						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	憲法に関して生じている諸問題について、自らテーマを選択し、研究計画を立て、文献リサーチを通じて自身の研究を卒業論文としてまとめる。また、報告発表や質疑応答を通して、各自の問題意識および研究内容をゼミ生で共有し、法的な議論の作法を学ぶ。						
授業の到達目標	①自ら課題を設定し、計画を立て、それを実行することができる（卒業論文の完成）。 ②自ら設定したテーマについて、関連する学術文献をリサーチし、根拠をもった説得力ある法的な文章をつくることことができる。 ③自らの問題意識および主張を、他者（ゼミ生）に分かり易く説明することができる。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション	16	卒業論文作成：第2章			
	2	卒業論文の書き方	17	卒業論文指導：第2章			
	3	卒業論文作成・指導：テーマ設定	18	卒業論文作成：第3章			
	4	卒業論文作成：資料収集	19	卒業論文指導：第3章			
	5	卒業論文指導：資料収集	20	卒業論文作成：第4章			
	6	卒業論文作成：論点整理	21	卒業論文指導：第4章			
	7	卒業論文指導：論点整理	22	卒業論文作成：おわりに			
	8	卒業論文作成：構成・目次	23	卒業論文指導：おわりに			
	9	卒業論文指導：構成・目次	24	事前審査（1）			
	10	中間報告（1）	25	事前審査（2）			
	11	中間報告（2）	26	事前審査（3）			
	12	卒業論文作成：はじめに	27	卒業論文報告会（1）			
	13	卒業論文指導：はじめに	28	卒業論文報告会（2）			
	14	卒業論文作成：第1章	29	卒業論文報告会（3）			
	15	卒業論文指導：第1章	30	卒業論文提出			
授業外学修 (事前学修)	各自の研究計画に沿って、参考文献のリサーチおよび卒業論文の執筆を進める（毎週2時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	授業で受けた指摘や助言を踏まえて、適宜修正し卒論執筆を進める（毎週2時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	報告発表および卒業論文の内容に基づき評価する。				100%	①、②、③	
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	各自の選択テーマに合わせて適宜指示・助言する。						
参考文献	各自の選択テーマに合わせて適宜指示・助言する。						
その他	論文の執筆は孤独な作業ですが、実は仲間と話し合い、励まし合いながら進めることも重要です。						